

日本政府・国民の皆様へ

## 推薦状（訳文）

2011年3月15日

中華民国前科学技術庁長官

胡 錦標

この度の東北地方太平洋沖地震の深刻な被害について、深く憂慮いたしますと共に、日本国民の強い団結力と高い科学技術によって早急な復興を成し遂げられることを確信しております。

さて、この地震によって東京電力の福島第一原子力発電所において、「炉心溶解」という事態が起きていることを知りました。これは深刻な人体・生物に対する放射能汚染を招きかねない状況です。これは日本国民はもとより、世界の原子力政策・エネルギー政策に悪影響を及ぼすものです。早急に汚染を最小限にとどめると共に汚染の予防と対策を講じなければなりません。

私が科学技術庁長官・原子能委員長であった時に、台湾で日本の高嶋康豪博士に放射性物質であるセシウム 137 の分解消失の実施実証を依頼したことがあります。高嶋博士は、その複合微生物による複合発酵酵素によって、セシウム 137 を吸着・分解できることを実証し、核能研究所がそれを証明しました。

そこで、今回の深刻な放射能汚染に対しても高嶋博士の複合発酵酵素によれば、放射能汚染の予防・対策が十分に可能であると考え、日本国民、そして世界の人々のために高嶋康豪博士の複合発酵酵素の科学技術を推薦する次第であります。この私の知見が日本国民・日本政府のお役にたてれば幸いです。

敬具

